

一心太助の天秤棒 ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ、
シリーズ/NO 133号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期21年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4100日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は257名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。

チャンネル登録



越谷市消防音楽隊の定期演奏会の会場は子どもたちも含めて満席



越谷市消防音楽隊は、2月4日(日)に第26回定期演奏会をサンシティ大ホールで開催したため観賞して来た。この演奏会では、音楽を通して防火・防災について市民に啓発するとともに、消防

音楽隊の活動を紹介する目的で毎年開催されているのだが、入場申し込みは毎年抽選となっており、この日も会場の2000席は、親子づれや高齢者等で満席の状態。

次々に演奏される曲目の最後には、定番の「バックドラフト」(映画のテーマソング)が流

れると消防隊の誇りと責任が会場を包んだ。

この曲は1991年制作の同名のアメリカ映画で消防士兄弟の葛藤と日夜火災と戦い続ける男たちの群像を描いた大作ドラマで有名となった。放火犯探しというサスペンス・ドラマがサブ・プロットになっている。音楽は「パシフィック・ハイツ」など近年売れっ子のハンス・ジマーが担当した。

演奏の合間には、救急隊、レスキュー隊、救急救命の手法紹介など、全て隊員が演じているため迫力もあり、笑いもありで毎年評判となっている。消防局には毎年新採の職員が採用されるのだが、音楽隊を希望して入庁するわけではないので、音楽隊の維持と練習には苦勞している、と以前聞いていただけに、今日の舞台での演奏には最後まで拍手が続いていた。

(2月4日・日曜日)

一日降り続けた大雪に、あたり一面は真っ白

夜更けからぐんぐんと気温が下がり始め、起床した午前4時過ぎには暗がりの中、あたりは冷気につつまれた朝を迎えた。

この日の朝の駅立ちは中止したのだが、西国分寺の都立多摩図書館セミナールームを会場に、午前10時30分からの「第51回議員の学校」(よくわかる自治体財政の基本とその課題)の受講のため、せんげん台駅から電車に乗って参加した。

主催はNPO法人多摩住民自治研究所。講義は、①予算審議のポイントと今後の自治体財政②社会保障関係予算の動向と自治体の福祉施策で2日間の日程。

毎年この講座には、できうる限り参加を希望しているので今回も参加したが、自治体財政はその用語や運用が自治体独特であり、徹底して何度も何度もその基礎を学ぶ必要を痛感させられて来たため、何時も新鮮に受け止めている。

しかし、昼休み昼食を取っている時間帯から窓ガラス越しに雪が強く降り始め、横殴りの風も吹き抜けて行く。あっという間に一面は雪に覆われ終了時間の午後6時前になっても止まず、帰りの西国分寺駅までの徒歩10分余りに衣服の体中に雪が降りかかって来た。

駅到着と同時に雪を払いのけて冷気のプラットフォームで電車を待つ時間が長く、長く感じた。(実際は15分程度だったのだが)

(2月5日・月曜日) (裏へ続く)

岡山県の自動車道路啓開計画は策定す みだったが。水道企業団の行政調査



越谷・松伏水道企業団議会の行政調査を、2月8日、9日の両日、岡山県備南水道企業団と岡山市水道局に緊急時の迅速な災害対策について調査して来た。

岡山市水道局は、給水人口698、687人、給水戸数337、585戸と越谷・松伏水道企業団の給水人口373、086人の2倍弱の対象となっている政令市。

視察施設は、市内にある三野浄水場と水道記念館で説明を受けた。

特に、水源を河川表流水と伏流水、地下水を浄水した自己水が8割を占め、岡山県広域水道企業団からの受水が2割となっている。

越谷・松伏水道企業団が給水の9割を埼玉県広域水道企業団と比較して大きな違いだった。

更に、平成30年7月の豪雨災害に対して浸水、停電対策やデジタル化の推進に取り組んで来ていた。ただ人口規模が大きく、給水地区が広範囲であるため管路耐震化が50、2%と低く今後の耐震化のための費用の捻出を水道料金の引き上げで対応せざるを得ないのだが、市民の了解が困難な状況も説明された。

私から、質問した。元旦の能登半島地震に対する石川県の初期対応の遅れの原因の一つに「自動車道路啓開計画」（災害時に道路が寸断された場合に備え、事前に地元の土木業者等と県が連携して作業が開始出来る計画）が石川県では策定されておらず、救急車や給水車等の現地派遣が困難を極めた。（自衛隊が300人初動で投入されたが、自衛隊車両は特殊車両であり、少々の道路寸断でも乗り越えて行く。そのため自衛隊が啓開した後の道路では通常車両では通行困難となる）岡山県ではすでにこの計画は策定されているのだが、能登半島地震を教訓にこの計画の見直しや検証が必要では、との質問に検討します、との回答だった。

また、敷地内にある水道記念館は子ども達でも楽しめる工夫がしてある様々なコーナーが常設されていた。（2月9日・金曜日）



映画「夢みる校長先生」の自主上映会に参加

市民団体「フリースペースえんぜる」が主催する上映会が所沢市松井公民館で開催された。本年早々に立ち上げた一般社団法人ソブリンムーブメント(私は副理事長)

をはじめ他3つの市民団体が協賛団体となっている。会場参加者には親子連れや女性が目立ったが、所沢市長や超党派の地方議員も多数参加していた。この映画は「いただきます」シリーズのオオタヴィン監督が「教育」をテーマに制作した映画「夢みる小学校」のスピノフ作品で、“子どもファースト”な学校改革を行った6つの公立学校の校長先生にスポットをあてたドキュメンタリー。

「60年前から通知表や時間割のない「総合学習」を続けてきた長野県伊那市立伊那小学校、2020年度の通知表を廃止した神奈川県茅ヶ崎市立香川小学校、校則をゼロにした東京都世田谷区立桜丘中学校、宿題を廃止した東京都武蔵野市立境南小学校などを取材するほか、元文部科学省事務次官の前川喜平、教育評論家の尾木直樹ら専門家にも話を聞く。小泉今日子がナレーションを務めた。」

上映会後は、夢みる“保護者” 夢みる“市民” 夢みる“先生” 夢みる“校長先生” 夢みる“教育委員会” 夢みる“PTA” 夢みる“〇〇etc…など『” 夢みる〇〇 “所沢でできること』をテーマに今回の企画が市民運動の小さな契機となって行くことを感じる集会だった

(2月18日・日曜日)

なかなかやれないよ、俺もがんばるよ

今朝の駅立ちは、北越谷駅東口で、通常通り午前5時50分から、市政レポートの配布を開始した。

午前8時前に高齢男性から笑顔で、いやーよくやっているね。こんなに長くなかなかやれないよ、んー俺もがんばるから、と話しかけられた。はい、そんな声が続けられる秘訣です、と応じた。ほんの数分の会話だった私もがんばります。（2月19日・月曜日）